

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	堺女子短期大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	サカイジョシタンキダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	大阪府
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立短期大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	美容生活文化学科
	担当教職員名・役職	吉田 巖 特任教授
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	8
	受入企業等数	8
	受入企業等名	(株)堺ファーム、ケイエイチ工業(株)、川崎青果(株)社会福祉法人きふくえん、(株)ユアサ デザインルーム(株)Diva、ミッシェル・ウエスト、VisagaSouriant
	インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生は、受入先の業務内容や実習プログラム等を確認の上応募し、実習40時間以上を単位認定の条件にしている。実際の実習内容は、現場の巡回や実習日誌で確認している。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している 9.その他
2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		受け入れ企業と受講生との都合により、授業期間中の土曜、日曜の休日や本人の授業のない日に実施する場合もある。
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		1年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		1単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		教養科目群選択1単位科目(1年次配当)として開設している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	情報処理、マナーや守秘義務等について、講義や演習の授業科目及び事前指導などで学習し、受け入れ企業には学生が事前訪問し、事業内容等の確認や実習当日の具体的行動予定等の説明を受けている。履修に当たって、シラバスを用いて意義、目的、成果等を学生に説明している。

	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	当日の実習記録と担当者のコメントで自己反省をしながら各実習を行ない、終了後、レポート(A4判1枚程度)を作成し提出。これをもとに学生個々に確認し企業からの評価も本人に知らせている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	実習期間の中頃訪問し、受け入れ先の意見を聴き、本人の意見や悩みを聞き、問題点解決相談に乗っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	堺・南大阪インターンシップ推進協議会が作成した評価票による実習先からの評価も参考に評価している。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	この評価票は、規律性、傾聴力、発信力、主体性、課題発見力及び総合評価項目を5段階評価し各項目ごとにコメントを記入している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施時間5日間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	各実習先毎の実習延べ時間が40時間であることを条件とする。
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習期間は延べ40時間以上であることを予め学生と受入先に説明し、終了後提出の日報で条件を満たしているかどうかをチェックしている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学コンソーシアム・堺市・堺経営者協会の三者で構成されたインターンシップ推進協議会で作成したプログラムと評価基準を用いている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	堺女子短期大学
	担当部署名	キャリア支援センター
	担当者役職名	特任教授
	担当者氏名	吉田 巖
	電話番号	072-227-8814
	メールアドレス	kyoumu@sakajoshi.ac.jp